

令和4年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 熊西 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

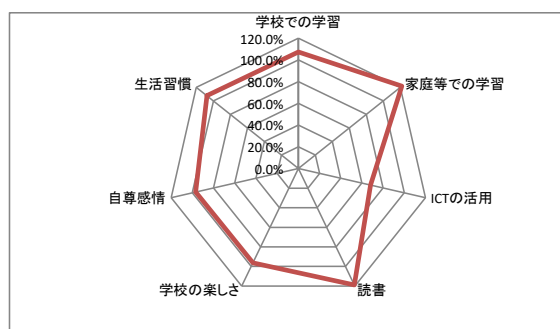
(1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	6.6	47	9.8	47
全国	9.7	69	7.2	51	10.4	49

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全問題の正答率が全国平均を上回るなど、総合的によく頑張っている。無回答率も全国平均より低い。ただ、全14問のうち1問～2問しか正答できなかった生徒の割合が全国平均を超えている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	表現の技法についての理解・自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話す	
	努力が必要な問題	全ての問題について全国平均を上回っていた。	
数学	全体的な傾向や特徴など	全14問のうち13問の正答率が全国平均を上回っている。特に「数と式」の領域において全国平均を大きく上回っている。無回答率も全国平均より低い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	事柄が成り立つ理由や判断の理由を説明する問題 特に素因数分解の問題は全国平均を大きく上回っている。	
	努力が必要な問題	筋道を立てての説明をする問題では、県平均は超えていたが、全国平均をわずかに下回っている。	
理科	全体的な傾向や特徴など	全ての領域において正答率は全国平均を上回っている。また、短答式の問題の正答率は全国平均を大きく上回った。無回答率も全国平均より低い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	物体に働く重力を説明する・化学変化やエネルギーに関する知識および技能・実験結果をもとにした考察	
	努力が必要な問題	気象データを用いて多面的、総合的に検討する・課題に正対した考察	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・家庭等での計画的な学習については全国平均を大きく上回っている。熊中ノートなど自主学習に取り組んできた成果だと考えられる。 ・読書や授業で話し合う活動、自分の考えをまとめる活動に関しては、全国平均を上回った。毎日の朝読書の取組や全教科における言葉の力を育む取組の成果だと考えられる。 ・ICTの活用については全国平均を大きく下回った。今後は、授業においてICTを活用することで、生徒のICTスキルの向上だけでなく、さらに生徒の興味・関心を高めたり、生徒の交流活動の効果を高めたりする中で、教育効果を上げる取り組みを行っていく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

始業1分前の着席・黙想や言葉の力を育む実践など、本校がこれまで全教科で取り組んできたことを継続していきながら、今後はICT機器の有効活用など指導方法の工夫改善を図る必要がある。

② 家庭生活習慣等に関する取組

今後も保護者への情報発信として、学校・学年・学級だより、保健室だよりなどで家庭での生活習慣の重要性などを訴えていく。また、携帯電話やスマホ、パソコンなどSNSの使用ルールを学校で指導するとともに、家庭で明確なルールをつくるよう強くお願いするなど、学校と家庭が連携していく。